

事業報告

平成25年度公益社団法人さいたま観光国際協会事業報告書
(平成25年10月1日から平成26年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及びその周辺地域における観光、コンベンション事業及び国際交流、国際協力事業の振興を図り、文化向上と、多文化共生の社会づくりを促進し、地域社会の発展とともに、国際化に資することを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日

平成3年4月6日

(平成25年10月1日公益社団法人へ移行)

② 基本財産

2億2,020万円

③ 実施事業

内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝

観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供

観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興

国際交流、国際協力に関する多文化共生事業

国際交流センター、観光案内所その他関連施設等の管理及び運営

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数(平成26年3月31日現在)

会長 1人

副会長 4人

専務理事 1人

常務理事 2人

理事 22人

監事 3人

(2) 理事・監事

① 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動事項
平成25年12月13日	理事	藤野 宏	死亡
平成26年 3月31日	理事	上井 喜彦	辞任
平成26年 3月31日	理事	野中 邦彦	辞任

② 平成26年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
会 長 (代表理事)	清 水 志摩子	平成25年 6月24日
副 会 長 (代表理事)	本 田 秋 満	平成25年 6月24日
副 会 長	松 永 功	平成25年 6月24日
副 会 長	島 頼 子	平成25年 6月24日
副 会 長	村 田 春 文	平成25年 6月24日
専務理事	矢 代 直 文	平成25年 6月24日
常務理事	櫻 井 武	平成25年 6月24日
常務理事	渋 谷 恒	平成25年 6月24日
理 事	相 川 博	平成25年 6月24日
理 事	一 柳 幸 男	平成25年 6月24日
理 事	岩 渕 均	平成25年 6月24日
理 事	桶 本 佳 一	平成25年 6月24日
理 事	久 世 晴 雅	平成25年 6月24日
理 事	轡 田 隆 史	平成25年 6月24日
理 事	國 谷 桂 子	平成25年 6月24日
理 事	齊 藤 公 司	平成25年 6月24日
理 事	関 根 徹	平成25年 6月24日
理 事	高 橋 三 男	平成25年 6月24日
理 事	田 中 徹 夫	平成25年 6月24日
理 事	田 中 洋 司	平成25年 6月24日
理 事	筑 波 伸 夫	平成25年 6月24日
理 事	富 永 庄 蔵	平成25年 6月24日
理 事	橋 本 和 久	平成25年 6月24日
理 事	服 部 圓	平成25年 6月24日
理 事	濱 野 博 美	平成25年 6月24日
理 事	原 田 新 一	平成25年 6月24日
理 事	東角井 真 臣	平成25年 6月24日
理 事	日 野 俊 彦	平成25年 6月24日
理 事	丸 弘	平成25年 6月24日
理 事	守 屋 二 郎	平成25年 6月24日
監 事	荒 井 伸 夫	平成25年 6月24日
監 事	井 原 實	平成25年 6月24日
監 事	鈴 木 孝	平成25年 6月24日

3 会員数の状況

種 類	前年度末 (平成25年9月末)	当年度末	増 減	備 考
正会員	995	992	△3	
うち法人・団体会員	(827)	(824)	(△3)	法人・団体 入会 8 退会 11
うち個人会員	(168)	(168)	(0)	個人 入会 2 退会 2
賛助会員	314	312	△2	入会 12 退会 16

4 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開催日時	議決事項等
平成25年11月15日 (第1回理事会)	(報告事項) 諸規則の改正に関する会長専決事項について (議題) 議案第1号 平成25年度(平成25年4月1日～平成25年9月30日)事業報告 議案第2号 平成25年度(平成25年4月1日～平成25年9月30日)決算報告 議案第3号 平成25年度(平成25年10月1日～平成26年3月31日)事業計画 議案第4号 平成25年度(平成25年10月1日～平成26年3月31日)収支予算 議案第5号 代表理事の選定について
平成26年3月26日 (第2回理事会)	(報告事項) 平成25年度下期事業執行状況について (議案) 議案第6号 平成26年度事業計画 議案第7号 平成26年度収支予算 議案第8号 給与規則の一部を改正する規則の制定について

(2) 総会

開催日時	議決事項等
平成25年11月15日 (第1回臨時総会)	(報告事項) 平成25年度(平成25年4月1日～平成25年9月30日)事業報告 (議題) 議案第1号 平成25年度(平成25年4月1日～平成25年9月30日)決算報告 (報告事項) 平成25年度(平成25年10月1日～平成26年3月31日)事業計画 平成25年度(平成25年10月1日～平成26年3月31日)収支予算

5 職員の状況

平成26年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	事務局長	副参与・センター長	主幹	主査	主任	主事	契約・臨時	合計
事務総括	1							1
総務担当			1	1	1	1	1	5
観光事業担当			1	2	1	7		11
コンベンション事業担当		1		2				3
広報宣伝事業担当		(1)	(1)		1	1		2
スポーツコミッション事業担当		1		3				4
国際交流センター		(1)	1	1			5	7
合 計	1	2	3	9	3	9	6	33

- ※ 広報宣伝事業担当副参与はコンベンション事業担当副参与の兼務
 広報宣伝事業担当主幹は総務担当主幹の兼務
 国際交流センター長は常務理事の事務取扱

6 事業の実施状況等

事業の実施状況

【公益目的事業】

(1) 観光等振興事業（公益目的事業1）

■観光事業

①観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（さいたま太鼓エキスパート・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・コラボさいたま・人形のまち岩槻まちかど雛めぐり・人形のまち岩槻流しびな他）

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

のびのびシティさいたま市フェア2013（10月19日～21日）

コラボさいたま2013（11月8日～10日）

美味しいもの出会いフェア in ソニックシティ（11月23日）

全日本フィギュア（12月21日～23日）

JR東日本・さいたま市・川越市合同キャンペーン（1月14日（土浦）、15日（船橋）、25日（川越））

花の名所の維持管理

観光ボランティア団体との連携

②推奨土産品認定事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

さいたま市新年名刺交換会（1月4日）

③観光イベント事業

十日市（12月10日 入込16万人）

十二日まち（12月12日 入込13万人）

さいたまるしえ（3月29日・30日 入込1万8千人）

④観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン実現に向けた協力

■コンベンション事業

①誘致支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動の推進

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

さいたま市 Walker を13件、11,951部、観光マップを17,807部、コンベンションビニールバックを9件10,713部提供し、本市開催のメリットをアピールした。

インターネットによるコンベンション情報の発信

コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

産業観光、アトラクション情報等の提供

コンベンション参加者ガイドの提供

「会議・コンベンション参加者便利帖」を作成、15件10,645部提供した。

推奨コンベンション弁当の周知

会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充

その他コンサルティング

②IME出展事業

国際ミーティングエキスポ「IME2013」への出展

12月10日（火）～11日（水）、国際フォーラムにおいて、国土交通省、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）及び、日本政府観光局（JNTO）主催の「第23回国際ミーティングエキスポ（IME2013）」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者44名に対し、本市への開催誘致を図った。（全来場者数1,925名）

③施設見学会事業

コンベンション施設見学会（年1回）の開催

2月24日（月）、IME2013におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェンツ等を対象とした市内施設見学会（大宮ソニックシティ、アフターコンベンションプログラムの紹介（盆栽作り体験））を開催し、26団体70名の参加があった。その後、参加団体については通常セールス活動でフォローすることとしている。

埼玉大学との連携

④情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

⑤経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

25年度における年間開催件数を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、年間経済波及効果報告書の基礎資料を作成した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実施を計数的に把握するため、25年度下半期に開催された個別のコンベンション（3件）における経済波及効果を調査した。

⑥コンベンション開催助成金制度の実施

コンベンション開催助成金制度の実施

さいたま市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、コンベンション開催助成金として、10件669万3千円を助成した。

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

■広報宣伝事業

①広報宣伝活動

観光情報誌「さいたま市 Walker×Sai's（さいず）」の発行（12月、3月）

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。（冬号、春号各32,000部）

観光マップ「ポケナビさいたま」の発行（100,000部）

テレビ、新聞・タウン誌、Web等の取材対応

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどのPR

スマートフォンアプリ開発等に関する協力

株式会社イベントバンクが作成したアプリ「さいたま市 観光アプリ」への情報提供を行った。

②インターネットによるシティセールス

ホームページ「web S@i's（うえぶさいず）」及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR

ツイッター「@SaitamaTIB」やFacebookページなどソーシャルネットワークを活用した、観光情報の発信

③大宮盆栽の普及啓発事業

JAPANブランド化事業「大宮盆栽」海外展開事業の推進

海外販路拡大に向けた取り組み（検疫対応、取引ルート確立等）

大宮盆栽ブランドのプロモーション（海外展示会出展等）、第8回世界盆栽大会（2017年）の推進

開催日	行事名	開催地
1月11日(土)～13日(月)	クールジャパン・ワールドトライアル事業	イタリア・ミラノ
1月18日(土)・19日(日)	Noelanders Trophy	ベルギー・ハッセルト
1月28日(火)～31日(金)	IPM Essen2014	ドイツ・エッセン
3月21日(金)～23日(日)	Crespi Bonsai "Bonsai Club Expo Contest"	イタリア・パラビアーゴ

■スポーツコミッション事業

①スポーツイベント誘致支援等事業

スポーツイベント主催者への大会等誘致活動

本市開催の可能性が高い各種スポーツ競技団体等に対して誘致セールスを行うとともに、MICEに関わる日本唯一のインターナショナルトレードショー「第23回国際ミーティング・エキスポ（IME2013）」に出展した。

スポーツイベント主催者への大会等運営支援

開催会場の確保・調整、スポーツイベント開催助成金制度による財政支援、大会の広報・PR、各種資料・情報提供、飲食物販売所の設置、行政機関への調整等、22大会に各種運営支援を行った。

インターネット及び各種広報媒体によるPR活動

ホームページによるSSCの支援メニュー及び市内スポーツ施設等の情報発信を行うとともに、支援イベントの集客プロモーション活動を行った。

SSCホームページアクセス数（10月～3月）

訪問者数：83,694件、ページ閲覧数：119,090ページビュー

スポーツイベントによる経済波及効果調査

経済波及効果推計の基礎調査収集として15大会にアンケート調査を行った。

スポーツ関連情報収集活動

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）等に参画・連携を図り、各種スポーツイベント情報の収集及び情報交換を行った。

②サイクリングイベント開催事業

さいたまクリテリウム by ツールドフランス開催

SAITAMA Criterium by Le Tour de France（さいたまクリテリウム by ツールドフランス）

期 日：10月26日（土）

会 場：さいたま新都心内周辺

内 容：ポイントレース1（1周2.7km×8周）

ポイントレース2（1周2.7km×8周）

クリテリウムメインレース（1週2.7km×20周）

サイクルフェスタ

さいたまるしえ

主 管：さいたまクリテリウム実行委員会

来場者：約20万人

③ウォーキングイベント開催事業

第2回さいたまマーチ ～見沼ツデーウォーク～

期 間：3月29日（土）～30日（日）

場 所：さいたま新都心から見沼田圃周辺

コ ー ス：2コース（見沼田圃北側、南側）

距 離：30km、20km、10km、5km

主 管：さいたまマーチ実行委員会

参加者：4,298人

④スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、16件（総額8,150千円）を助成した。

■観光案内所運営事業

①観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所（JR大宮駅東西自由通路内）、さいたま新都心観光案内所（JRさいたま新都心駅東西自由通路内）、浦和観光案内所（JR浦和駅西口前）の運営

- ・観光案内業務
- ・各種パンフレット配布業務
- ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

(2) 多文化共生、国際相互理解促進事業（公益目的事業2）

■国際交流事業

①国際推進事業

多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

相談日及び件数：中国語 火曜日（17件）、英語 水曜日（0件）、韓国・朝鮮語 木曜日（3件）

ボランティア（通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント）派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣、ホームステイ受入れ家庭の紹介及び国際交流イベント等へのイベントボランティアの募集と派遣を行った。

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	432人 (20言語 延べ515人)	通訳4人 翻訳55人
ホストファミリー	222家庭	19家庭
イベントボランティア	登録者実数219人	318人

外国人への日本語支援事業

在住外国人のための日本語教室を毎週金曜日に国際交流センター（浦和コース）及び大宮区区役所（大宮コース）で開催。日本語習得の支援や行政情報や生活情報を提供した。

参加者総数：(学習者679人、要保育児146人、スタッフ等1,103人)

○教室別内訳

《浦和コース》1,388人（学習者504人、要保育児101人、スタッフ等783人）

午前保育付コース 739人（学習者229人、要保育児101人、スタッフ等409人）

子どもコース 131人（学習者68人、スタッフ等63人）

夜一般コース 518人（学習者207人、スタッフ等311人）

《大宮コース：午前保育付コース》

540人（学習者175人、要保育児45人、スタッフ等320人）

外国人市民に向けた地域・生活情報の提供（多言語生活情報誌「ぷらら」の発行

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を5言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮

語、スペイン語)で発行した。(39号:12月、40号:3月、計8,570部発行)
外国人による日本語スピーチ大会

在住外国人と市民の相互理解を深めるため、2月8日(土)に「私にとっての宝物」をテーマに市内在住、在勤、在学の外国人による「日本語スピーチ大会」を開催した。(会場:浦和コミュニティセンター 多目的ホール、参加者:148人)

国際ふれあいフェア

さいたま市の姉妹・友好都市を中心に、各国の文化などを紹介し、異文化理解の推進を図った。

日 程:10月6日(日)

会 場:浦和駅東口駅前市民広場

参加団体:22団体(10ヶ国)

来場者数:約6,500人

②国際交流事業

国際交流センター情報誌発行

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センターの事業や各種国際交流関係の情報を提供した。(06号:11月、07号:3月 各号2,500部発行)

ボランティア養成

災害発生時の外国人支援を目的に防災ボランティア養成のための講座等を開催。災害時多言語支援として、11月30日(土)にボランティア養成講座を実施し、2月22日(土)に災害時ボランティア養成講座入門を実施。

また、ボランティア養成として3月1日(土)に「ホテルマンに「おもてなし」を学ぶ」を実施。

ユース国際ボランティア養成講座

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心とした、ユース国際ボランティアメンバーによる養成講座を開催。3月1日(土)に「おひな様おりがみ体験ワークショップ」を開催。

次世代養成セミナー

学生による国際交流体験などの発表や意見交換を通じた異文化理解と国際化に向けた人材の育成を目的として12月14日(土)に「さいたま市から国際社会を知る～扉を開けて、一歩踏み出そう～」をテーマにセミナーを開催。(参加者:52名)

日本語ボランティア養成講座(実践)

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティア養成講座を開催。

日 程:1月31日(金)～2月28日(金)計5回

場 所:国際交流センター多目的室

参加者:30名

日本語国際センター研修生との交流

日本語国際センターの研修生と会員との交流を通じ、研修生にさいたま市への親近感を深めることを目的として、国際交流基金日本語国際センターを会場に、交流会を10月8日(火)(参加者:191名)と2月6日(木)(参加者:144名)の2回実施した。

国際交流サロン交流会（はじめましての会）

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的として、10月19日（土）に浦和コミュニティセンターで開催。（参加者：183名）

ホームビジット

ホストファミリーのホームステイ受入の準備体験と留学生の日本の家庭での生活体験を目的に、半日のホームステイとしてホームビジットを11月16日（土）（留学生22名）を実施。

異文化交流のための語学講座

多言語を学ぶとともに、姉妹友好都市への理解を深めるために、12月～3月の間4言語による講座を実施した。

（受講者数）英語 14名、中国語 9名、ロシア語 9名、タイ語 15名

サロン企画事業（ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン）

国際交流サロンスペース（ぷらっとサロン）を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでの企画展示や文化紹介等のミニ講座などを実施。

●ミニ講座 2回開催（参加者合計：47名）

●おしゃべりサロン（英語、韓国語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語）

参加者：3,945名

外国人市民への子育て支援

市内在住外国人の子育て支援するため、親子で参加するイベントの実施や子育てに関する相談と情報交換を目的に、「ぷらっとあそぼうドットg」を毎月第二土曜日に開催。

参加者：合計151人

姉妹友好都市交流支援

熊谷市国際交流協会へ訪問し、熊谷市の姉妹都市であるインバーカーギル市との活動内容と又今後交流事業にどのような展望があるか等を伺った。

コムナーレ各施設との連携事業

3月1日（土）・2日（日）に「コムナーレフェスティバル」が開催され、本センター内で「ホテルマンにおもてなしの極意を学ぶ」と題したボランティア養成講座と「盆栽と世界文化の融合～さいたま発の国際交流～」の2つの講座を行った他、ユースボランティアによる「おひな様おりがみ体験ワークショップ」を実施した。

③国際協力事業

さいたま市国際 NGO ネットワーク等、国際協力団体との連携事業

さいたま市国際 NGO ネットワークと共催で、3月8日（土）に「わくわく国際フェスタ」（会場：浦和コミュニティセンター）を開催。アンドリュー・ワイレガラ氏（在日米国大使館商務担当公使）を招き、「留学が私にもたらしたもの」をテーマに講演会の他、留学生とのパネルディスカッションを実施した。（来場者数：104名）

【収益事業等】

（1）物品販売事業

①観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ売上 752,660円

②公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

販売手数料収入 148,874円

③その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務

販売手数料収入 1,822,113円

(2) その他

①情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会及び国際会議観光都市連絡協議会への参加による情報交換

本年度は大都市観光協会連絡協議会の開催都市として、11月28日、29日の2日間、
会議及び観光施設視察を実施した。

②会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新年賀詞交歓会を2月12日に開催した

③経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討